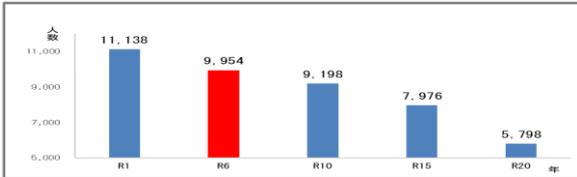


I 現状等

- (1) 現行高校再編計画 (H28～R7年度) の状況
 H28 学校数63、学級数255、募集定員10,200人
 R 7 学校数59、学級数213、募集定員 8,520人
 R7-H28 △4、 △ 42、 △ 1,680人
- (2) 岩手県における中学校卒業予定者数の推移



※△4,156人 (R20～R6) → △104学級相当数への対応が必要

II 長期ビジョンの概要

1 高等学校教育の基本的な考え方～5本柱～

子どもたちに、広大な県土を有する本県の地理的要因によって教育の機会を損なうことなく、様々な社会的変化を乗り越えて豊かな人生を切り拓く力を身に付けさせ、「持続可能な社会の創り手、地域や地域産業を担う人材」として育成していくことが、これからの岩手の未来を切り拓く礎になると考える。

- ① 持続可能な社会の創り手となる人材の育成
- ② 高等学校の多様化に対応、各自の希望する進路の実現
- ③ 教育の質の保証、教育の機会の保障
- ④ 地域や地域産業を担う人材の育成
- ⑤ 大学進学率の向上や専門的知識を持つ人材の育成

2 県立高校の学びの在り方

(1) 高校の特色化・魅力化【ビジョン】

- ・ 生徒の学習意欲を喚起し、一人一人の可能性や能力を最大限に伸長するため、高校の特色化・魅力化を推進し、各高校によるスクール・ポリシーを踏まえた教育活動を支援する。
- ・ 本県でこれまで培われてきた各県立高校と地域、企業、大学等との連携・協働を深化させるとともに、取組の持続可能性を高める環境づくりに取り組む。
- ・ 高校の特色化・魅力化に当たり、地域人材等の有効な資源との連携・協働の推進に向けコーディネーター等の専門人材の配置に取組む。

3 県立高校の学びの在り方

(1) 普通高校【ビジョン】

- ・ 生徒の進路は、大学、専修学校等への進学や就職等、多岐にわたっており、生徒・保護者のニーズや社会の変化に対応した学びの保障や、生徒の資質・能力の向上を図るため、教育課程の見直しや、教育活動の特色化・魅力化等の取組を更に進める。
- ・ 探究的な学び、文理横断的な学びの充実を図りながら、DXハイスクールの取組を進め、新たな学科やコース等の設置について検討に取り組むとともに理数科等、普通科系の専門学科については、県全体のニーズや卒業後の進路状況を見据え、学科や学系の構成等について検討し、取り組む。

(2) 専門高校【ビジョン】

- ・ 産業振興の方向性や、地域が必要とする産業の人材育成を見据えた学科編制や学びの在り方について、検討し、取り組む。
- ・ 地域産業を担う人材の育成や課題の解決に向け、知事部局等と連携しながら、地域や産業界と学校との連携・協働の推進に取り組む。
- ・ 学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のため、探究的な学び、実践的な学びの充実を図りながら、DXハイスクールの取組を進める。

(3) 定時制・通信制高校【ビジョン】

- ・ 定時制・通信制高校への入学者数の推移や国の動向等を注視するとともに、不登校や教育上特別な支援を必要とする生徒の増加等に伴う定時制・通信制高校に求められる役割の変化や、全日制高校の再編整備の動きも考慮しながら、定時制・通信制高校の機能強化等に取り組む。
- ・ 通信制高校の設置について、生徒のニーズの変化等を踏まえ、既存の定時制高校に併設する等、検討する。

4 学びの環境整備

(1) 学校規模【ビジョン】

- ・ 高校時代は社会に羽ばたこうとする段階の人間形成期にあって、生徒同士の切磋琢磨による学力の向上、社会性や協調性の育成や生徒の希望する多様な学びの提供を図るには、学校規模を確保することが重要である。
- ・ 一方で、本県の広大な県土という地理的な条件、地域の実情、適切な教育の質の確保、県立高校が担う役割の多様化及び少子化の状況等を勘案すると、本県における学校の最低規模は1学年2学級（総合学科高校は1学年3学級）とするが地域における学びの機会を保障するため、近隣に他の高校がなく、他地域への通学が困難な場合における最低規模を1学年1学級とする学校の配置を検討する。

(2) 小規模校の在り方【ビジョン】

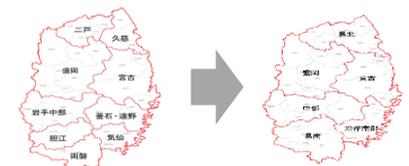
- ・ 将来的な生徒数減少の状況や、教育の機会の保障と質の保証の観点から踏まえた小規模校における遠隔教育などの各種教育条件の改善について、国の動向を注視しながら検討し、取り組む。

(3) 地区割と学校配置【ビジョン】

- ・ 生徒の通学の利便性、産業振興の動向、義務教育との接続等を考慮し、県立高校の配置に関する地区割の基本単位を新たに6地区と、全県における学校配置のバランスを考慮しつつ、広域での再編を検討し、進める。

【変更前】9ブロック

【変更後】6地区



5 高等学校教育の充実に向けた方策

(1) 遠隔教育・学校間連携【ビジョン】

- ・ 中山間地等に所在する小規模校の生徒が履修できる教科・科目等の種類の増加、生徒の興味関心や進路希望に基づく多様な学習ニーズに対応するため、遠隔教育や学校間連携のメリット、デメリットを踏まえながら、遠隔教育の普及・拡大に取り組む。

(2) 教育上特別な支援を必要とする生徒等への対応【ビジョン】

- ・ 教育上特別な支援を必要とする生徒や不登校の状況にある生徒に配慮するため、よりインクルーシブな教育環境の在り方を検討し、その整備に取り組む。

(3) 全日制高校への単位制導入【ビジョン】

- ・ 単位制導入による教員加算を活用して、生徒の多様な進路希望や学習ニーズ等の指導体制の一層の充実に取り組む。

(4) 県政課題等に対応した人材育成【ビジョン】

- ・ 医系や科学系分野等の専門職を目指すコースや、探究的な学び、文理横断的な学びに取り組むコースなど、学力向上に資するとともに特色あるコースの設置について検討し、取り組む。

(5) いわて留学（県外募集）【ビジョン】

- ・ いわて留学の実施校及び実施を検討している学校に対する支援の方策及び県外生に対して、生活全般において適応が可能となるような支援在り方について検討し、取り組む。